



# 安全報告書



 北総鉄道株式会社  
Hokuso-Railway Co.,Ltd.

千葉ニュータウン鉄道株式会社  
Chiba Newtown Railway Co.,Ltd .

# 目 次

1 . ごあいさつ .....	1
2 . 路線図・成田スカイアクセス線分界概要 .....	2
3 . 安全に関する基本方針・安全重点施策 .....	3
4 . 安全管理体制と安全管理方法 .....	4
5 . 安全対策の実施状況 .....	9
6 . 事故等の発生状況 .....	14
7 . お客様へのお願い .....	14

(注) 報告書の記載内容のうち特に会社名が明記されてない事項については、北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道とで一体となり取り組んできた内容となっています。

東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

## 1. ごあいさつ



第1種及び2種鉄道事業者  
北総鉄道株式会社  
取締役社長 笠井 孝悦

平素、北総鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

本年も鉄道事業法に基づき、弊社の輸送の安全に関する報告書を作成しましたので、どうぞ一読ください。

弊社は京成グループの経営理念である「良質な商品・サービスを安全・快適に提供する」ことを基本に掲げ、「安全・安心を第一に行動する」ことを行動指針として何よりも安全を最優先に日々業務に取り組み、健全な事業運営と社会の発展に貢献することを目標として努力をしております。

さて、2010年度も全社員一丸となり安全運行に努め、重大事故等を発生させる事なく推移いたしました。

これに気を緩めることなくお客様に安心してご利用いただけますよう安全施策を漸次見直し、輸送の安全確保に千葉ニュータウン鉄道と協力して実現してまいります。

また、昨年7月の成田スカイアクセス開業により空港輸送という重要路線の一翼を担うこととなり、多くのお客様にご支持、ご利用いただくために、今まで以上に安全管理体制の強化を図るとともに、安全・安定輸送サービスを推し進めてまいります。



第3種鉄道事業者  
千葉ニュータウン鉄道株式会社  
取締役社長 酒寄 博司

平素、千葉ニュータウン鉄道（北総線：小室駅～印旛日本医大駅間）をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当社は、北総線の小室駅～印旛日本医大駅間12.5kmの鉄道施設と40両の車両を保有する第3種鉄道事業者であり、第2種鉄道事業者である北総鉄道に鉄道施設と車両を賃貸いたしております。

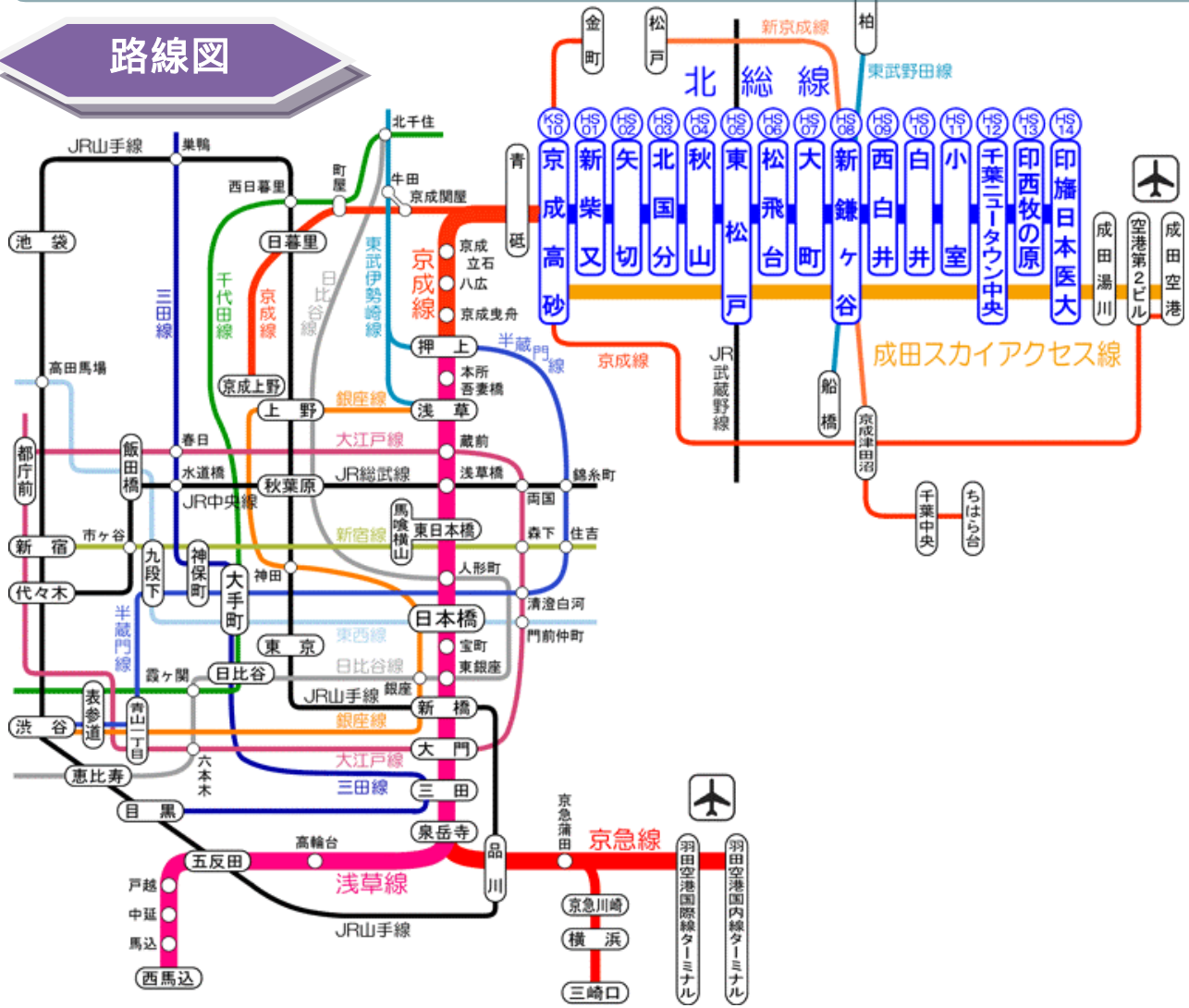
また、当社は京成グループの一員として、グループ経営理念である「良質な商品・サービスを安全・快適に提供する」ことを目標とし、グループ行動指針に掲げる「安全・安心を第一に行動する」ことを実践し、日頃より安全・安心な列車運行の確保に努めております。

さらに、昨年7月成田スカイアクセス開業により安全性向上の一層の強化を図っていかねばならないと考えています。

今後ともお客様に安全・安心、そして快適にご利用いただけるよう、北総鉄道との連携を強化し、鉄道諸設備の適切な維持管理に努め、輸送の安全確保に取り組んでまいります。

## 2 . 路線図・成田スカイアクセス線分界概要

### 路線図



### 成田スカイアクセス線分界概要

	京成上野駅	京成高砂駅	小室駅	印旛日本医大駅	分界点	成田空港
第1種鉄道事業者 (運送 + 財産)	京成電鉄	北総鉄道 (北総線)				
第2種鉄道事業者 (運送)			北総鉄道 (北総線)			
第3種鉄道事業者 (財産)			千葉ニュータウン鉄道	成田高速鉄道アクセス	成田空港高速鉄道	
運行管理業務	京成電鉄	北総鉄道		京成電鉄		
保守業務	京成電鉄	北総鉄道		京成電鉄		

### 3 . 安全に関する基本方針・安全重点施策

#### 安全に関する基本方針

お客様に安全・迅速・快適に当社線をご利用いただけるよう、私たちは「京成グループ経営理念」と「京成グループ行動指針」に基づき、安全を最優先とする体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、車両及び社員を総合的に活用して輸送の安全を確保します。

##### ・ 京成グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

##### ・ 京成グループ行動指針

- 【安 全】 私たちは、安全・安心を第一に行動します。
- 【接 客】 私たちは、あいさつを励行し、お客様の立場にたって行動します。
- 【成 長】 私たちは、絶えず自己革新し、新たな価値を創造します。
- 【企業倫理】 私たちは、すべての人を大切にし、法令・規則を遵守します。
- 【環 境】 私たちは、自然環境に配慮し、行動します。

##### ・ 安全方針

安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めます。

- 1 . 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正・忠実に遂行します。
- 2 . 事故・災害等が発生したときは、速やかに安全適切な処置をとります。
- 3 . 常に向上心を持ち、必要な工夫・改善に努め、安全且つ快適な環境を提供します。

#### 安全重点施策

輸送の安全確保に関する基本方針に基づき、輸送の安全の確保を最優先に、鉄道諸設備の整備を推進し、また安全に対する取り組みや施策の継続的な改善を図り、社内の管理体制と各部門間での意思疎通を強化し、今後とも安全安定輸送の確保に向け努力してまいります。

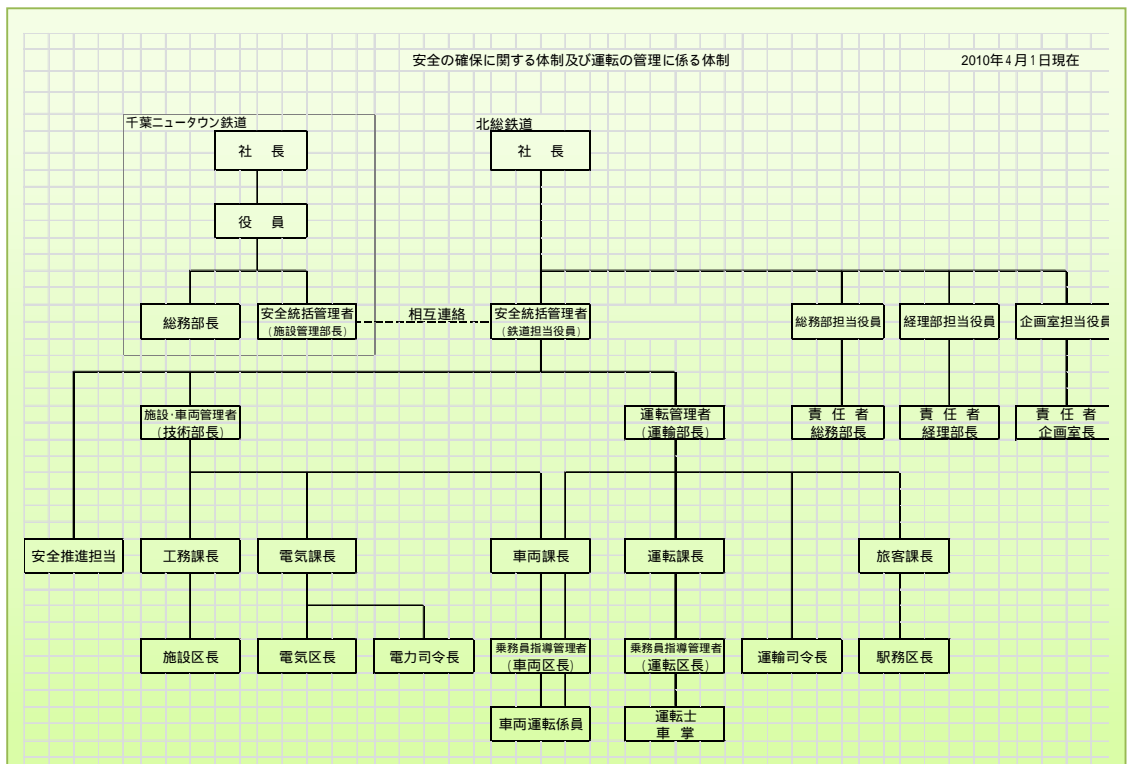
成田スカイアクセス開業に関しての重点施策として高速化運転に向けて安全管理体制の確立及び安全・安定輸送の確保。

- ・ 駅ホームにおける高速通過列車に対する旅客の安全確保
- ・ 軌道、電線路等の整備基準の確立
- ・ 軌道内作業における安全対策の確立
- ・ 異常時における運転取扱い及び旅客案内の確立

# 4 . 安全管理体制と安全管理方法

## 安全管理体制

当社は2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を敷いています。なお成田スカイアクセス開業に伴い、より一層の安全管理体制の強化を図るため、2010年4月1日より新しい組織として安全推進担当を設置致しました。現状における管理体制は以下の通りです。

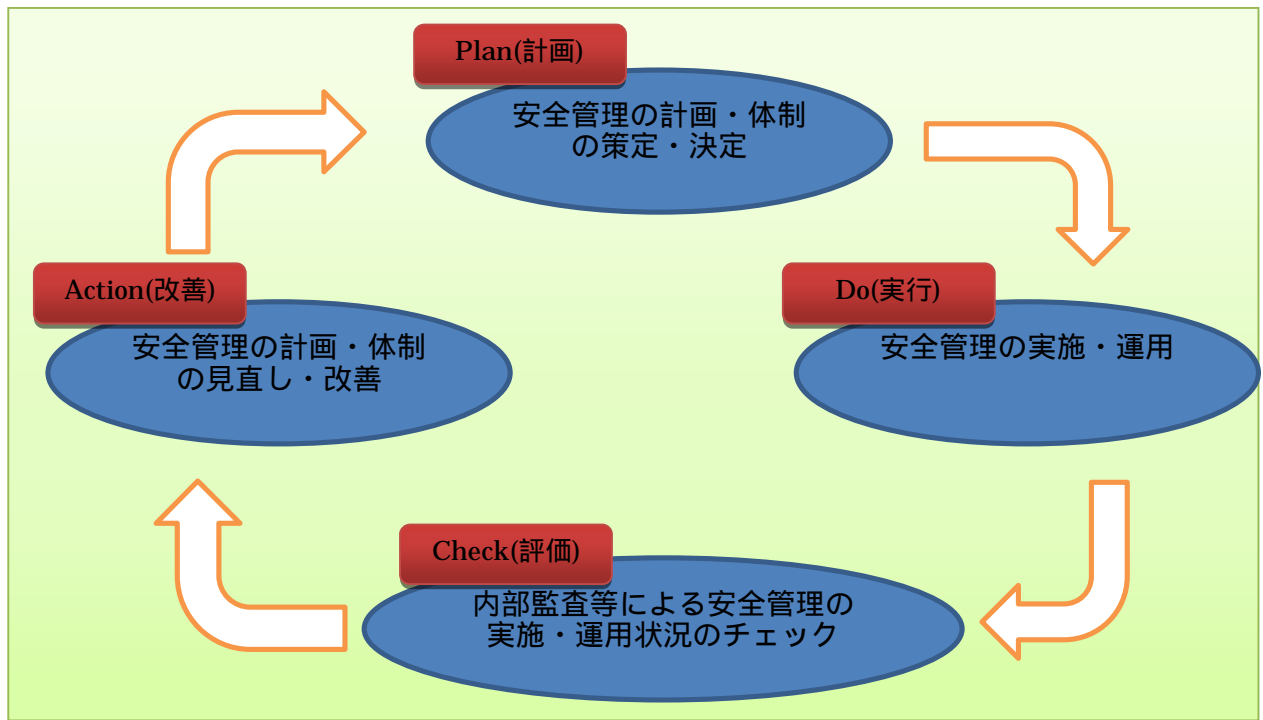


北総鉄道		2010年4月1日現在
役 職	役 割	
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う	
安全統括管理者 (鉄道担当役員)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する	
運輸管理者 (運輸部長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する	
乗務員指導管理者 (運転区長、車両区長)	運輸管理者または車両管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する	
施設管理者 (技術部長)	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する	
車両管理者 (技術部長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する	
安全推進担当	内部監査を実施し、内容が適切に運営されていることを検証するとともに、安全性向上のための施策を安全統括管理者に提言する	
その他必要な責任者 (総務部長、経理部長、企画室長)	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する	
千葉ニュータウン鉄道		
役 職	役 割	
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う	
安全統括管理者 (施設管理部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する	
施設管理部長	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する	
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する	

# 安全管理方法

安全方針及び安全重点施策に基づき、輸送の安全を確実にするために様々な会議や運動を実施するとともに、経営トップの意見をはじめとする鉄道の安全に関する情報の共有化を図り、安全管理体制の整備の推進や継続的な「PDCA サイクル」によって随時見直しを行っております。

## ・安全管理体制に係る PDCA サイクル



## ・安全に関する内部監査の実施

社団法人日本民営鉄道協会主催の「運輸安全マネジメント内部監査員研修」を修了した監査員による内部監査を毎年継続的に実施し、安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証しています。2010年度は経営トップ・安全統括管理者・各管理者をはじめ当社全部門に対して実施しております。

また、内部監査の充実を図るため京成グループ鉄道各社(京成電鉄株、新京成電鉄株)の内部監査員が同席し、監査終了後に意見交換を行っております。



質問等による内部監査



書類閲覧等による内部監査

## ・経営層による職場巡視

春・秋の交通安全運動及び火災予防運動、夏季及び年末年始安全輸送総点検等を利用し、社長をはじめ安全統括管理者等が定期的、または随時に第一線の職場及び作業現場を巡視し、現状を把握するとともに意見交換を通じ安全の確認及び安全意識の高揚を図っております。



社長巡視の様子



矢切駅エレベータ新設工事視察

## ・安全推進会議の充実

安全推進会議とは、安全統括管理者が主催する会議で毎月開催され、安全に関する様々な議題(事故等の報告・分析、及び再発防止策の審議等)を議論し、方向性を決定して、事故等の撲滅を図るべく防止に努めました。なお、会議議事録は社長をはじめ各管理者に回覧し、情報を共有しております。

## ・安全に関する会議（各職場）

現業長を含む管理職会議及び技術部門においては現業員を含めた課長以下による職場ごとに毎月会議を開催し、現状の把握・情報の共有及び示達事項の徹底等を図り、保全に努めました。

運輸部門においては運転管理者を含む管理職と乗務員代表者との意見交換を行い、情報の共有化を図るとともに、同業他社を訪問し知識の向上に努めました。

技術部門においては年2回定期的に社員と協力会社を含めた「安全衛生懇談会」「工事安全推進協力会」を開催し、安全及び衛生に関する事項について徹底並びに啓蒙を図るとともに、横断的に情報交換を行い安全確保に努めました。

## ・安全衛生委員会の充実

安全衛生委員会とは、会社側代表と社員会代表に産業医を加えたメンバーで構成される会議で毎月開催し、現場巡視を通じて現状を把握するとともに、安全衛生に関する諸問題について改善を図るべく意見交換を行っております。



安全推進会議の様子



安全衛生巡視の様子

### ・安全に関する教育

乗務員全員が車両故障等を想定した研修を机上及び実車を使用して実施し、異常時に速やかに対応ができるよう知識・技能の保有に努めました。

鉄道事業法で規定されている鉄道従事員に対して必要な知識・技能の保有及び習得や安全意識の向上を図るため教育を実施したほか、保守・工事の質の向上及び安全作業の維持向上を目的として請負工事会社の社員を対象に施工管理者講習会を適時実施しました。

職種転換時・入社時及び昇進時においては職能教育を実施し、その職種・職責に必要な知識の保有を図りました。

外部機関等を利用した研修・講習会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

外部機関より講師を招き、安全衛生に関する知識の習得に積極的に取り組みました。

運 転：乗務員定数を充足するため、定期的に養成を行っています。

駅 務：駅務員等定数を充足するため、定期的に職員を採用するとともに管理職の養成を行い、指揮系統の確立を図っています。

施設保守：業務に支障を与える事のないよう適時職員を採用し、技術の伝承に努めています。

### ・運転状況の把握と情報発信

日々刻々と変化する運行状況は、運輸指令所でリアルタイムに監視を行っているほか、毎日の運行状況は運転管理者・安全統括管理者を通じて社長まで報告されます。

運行に支障をきたす事象が発生した場合は、関係者携帯メール配信により周知するとともに、運行情報は当社ホームページを通じて社外にも配信されます。



メール一括配信システム



運輸指令所運行管理装置

## ・異常時の緊急体制

事故及び災害等が発生した時、または発生のおそれがある場合の緊急措置については「異常時対策規則」に基づき対応します。なお、事故等が発生した時の連絡体制及び本部体制等の再確認のため、成田スカイアクセス開業前の6月30日にスカイライナーが支障物と接触したことを想定した訓練、また12月15日には小室駅で薬品漏洩テロ発生を想定した訓練を実施いたしました。

各部門において適時異常時を想定した電車線断線復旧訓練・作業車両及び車両の脱線復旧訓練を実施したほか、防災週間期間中においては大規模地震の予知及び発災対応訓練を実施しました。また、年末年始輸送安全運動期間においては小室駅で関係機関（船橋市・船橋市北消防署・船橋東警察署）の協力の下、社長以下総勢130名にて異常時（特殊災害）対応訓練を実施しました。それ以外を下記に示す。

- 5月28日 成田スカイアクセス異常時訓練(京成電鉄合同訓練)  
列車防護訓練 避難誘導訓練 転てつ器手動訓練
- 6月25日 鎌ヶ谷市爆発物処理訓練見学
- 6月30日 成田スカイアクセス開業に伴う異常時訓練
- 9月1日 防災訓練（予知対応訓練・発災対応訓練）
- 9月5日 九都県市合同防災訓練千葉市会場訓練見学
- 9月7日 松戸市テロ対策訓練見学
- 9月17日 非常召集訓練
- 12月1日 緊急地震速報訓練
- 12月7日 新京成電鉄異常時総合訓練見学
- 12月15日 小室駅異常時対応訓練



スカイライナーと救援列車との連結



小室駅にて薬品漏洩の対応訓練



モーターカー脱線復旧訓練



列車脱線復旧訓練

## 5. 安全対策の実施状況

### 安全対策のための投資実績と計画

安全安定輸送確保のため、毎年度下表の通り鉄道事業における安全対策に対して投資を行っています。

	単位（百万円）		
	2009年度 （実績）	2010年度 （実績）	2011年度 （計画）
安全対策 に対する 設備投資	1,553 (210)	944 (49)	863 (128)

（ ）内数値は、千葉ニュータウン鉄道投資額内数を示す。

注：2009年度分は成田新高速鉄道工事費のうち

北総鉄道及び千葉ニュータウン鉄道の自社負担分を含む

### 行政指導等に対する措置の状況

#### 行政からの指導により実施した安全対策

##### 1) 列車無線非常時の電源新設

非常時に常に安定した通話が確保できるよう、列車無線装置内に予備のバッテリーを単独に設け、電源の二重化を図る工事を推進しました。

（2010年度に2編成実施し、全12編成完了）

##### 2) 運転士異常時の列車停止装置改良

運転士の異常発生時に自動的に列車を停止させる装置を現在も導入しておりますが、より機能向上させたものに改良しております。

（2010年度までに12編成中11編成完了し、2011年5月に残り1編成完了済み）



列車無線非常時の電源



運転台の機器配置の一例

## 安全確保のための措置(設備)

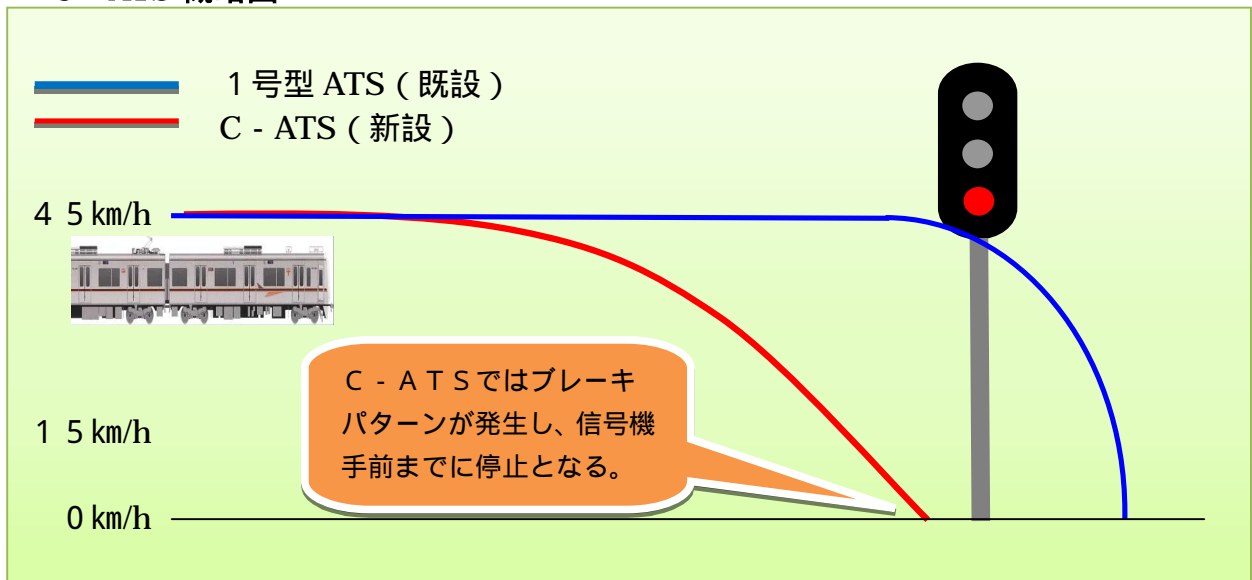
当社では輸送の安全確保を目的として、老朽化設備等重要度の高いものから順に効果的かつ効率的に設備改良を実施しています。2010年度においては、引き続き老朽化した変電所設備更新のための一部機器の製作・施工及び安全性向上を目的として京成高砂駅隣接区間において、既設ATS（自動列車停止装置）を新型の高機能C-ATSへ改修したほか、線路設備に対するきめ細かな維持管理を目的とした保線管理支援システムの導入、さらに車両のブレーキ装置の更新等を実施しました。

また、高架橋及び鉄道と幹線道路が交差している重要な箇所については、継続的に耐震補強等を実施します。

その他日常的においては、法令に定められた点検周期や点検項目に基づき、鉄道施設及び車両について所定の機能を維持・発揮できるよう定期的に点検及び検査を実施し、安全で快適な環境を提供するため日夜整備に努めました。

また、線路巡回等により発見した設備の不備に対してはその都度補修を実施しました。

### ・C-ATS 概略図



## 駅の安全対策

### ・非常通報装置

お客様が線路内に転落した時や線路内に障害物を発見した場合等の非常事態が発生したらホーム上の「非常通報ボタン」を押すことで、運転士・駅係員に危険を知らせることができる装置を全14駅に設置しております。これにより、事故を防止し、列車の安全運行を図っています。



## ・AED(自動体外式除細動器)

安全に安心してご利用いただける駅を目指し、当社各駅改札口付近にAEDを全14駅17台設置しております。

なお、駅係員においては普通救命講習を全員受講しており、万が一の際は速やかな対応が取れるようにしております。



## ・連結面間転落防止幌

車両の連結面間には、お客様がホームから転落されることを防止するため全編成への転落防止幌の設置を進めております。(2010年度までに12編成中9編成完了。残りは更新時等に対応予定)



## ・駅構内の防犯対策

駅構内の安全対策として、防犯カメラを設置しております。カメラの設置台数は262台で、そのうち209台は映像記憶装置が付いています。駅事務室及び一部は運輸指令所で駅構内の状況をテレビモニタで把握し、記録映像によって後日でも状況確認することができます。



画像の一例

## ・通過列車注意表示

お客様への注意喚起を促す表示と警戒ラインを駅ホームの注意箇所床面に貼付し、必要に応じて手すりを設置することで、高速列車の通過時の安全対策を実施しました。(高速通過13駅全て完了)



## ・バリアフリー工事

2010年度は、駅施設のバリアフリー工事として、矢切駅・秋山駅・白井駅でエレベーター及び多機能トイレを設置しました。



## ・地下駅の火災・停電等の対策

地下駅の矢切駅において、非常用発電機・屋内消火栓設備や排煙設備等の火災・停電等の非常時対策を行っております。また、2003年に韓国テグ市で発生した地下鉄火災事故を受け改正された国土交通省令等に基づき、蛍光明示物や誘導案内看板の設置等を行っております。



駅務室内総合防災盤



誘導経路図



非常用発電機

## 施設の安全対策

### ・気象観測装置の総合システム

装置毎(地震計「3カ所」・風速計「4カ所」・雨量計「2カ所」レール温度計「2カ所」)に設置されていた気象観測装置の情報を集約し、一元化を図り、異常時の情報を迅速かつ的確に把握しております。



### ・緊急地震警報システム

気象庁が発表する緊急地震速報を利用し、当社線に被害が予測される場合に、全列車の運転台に自動的に停止放送を行い、運転士が列車を安全な場所に緊急停止させる「緊急地震警報システム」を2008年より運用開始しております。



### ・列車接近警報装置の設置

線路内で保守作業を行う作業員に対して、列車の接近を表示等の点滅で知らせる装置の設置を進め、触車災害の防止を図っております。



## その他の安全対策

### ・鉄道テロ対策

駅構内及び列車内での不審物発見時におけるお客様への協力依頼の放送・ポスターの掲出を行っているほか、防犯カメラによる監視の実施や警備腕章等を着用し巡回警備を強化して、テロの未然防止に取り組んでおります。



防犯用カメラ



見せる警備の一環のバッジ

### ・こども110番の駅

鉄道事業者による全国的な取り組みとして、当社全14駅に「こども110番の駅」のステッカーを貼付し、何らかの理由により子供が駅に助けを求めてきた場合は保護し、110番通報を行うなどの取り組みを実施しております。



### ・サービス介助士の資格取得

全てのお客様に優しい鉄道を目指し、サービス介助士制度が導入されてから2010年度末現在まで79名が有資格者として、当社各駅に配属されております。また、2011年度も引き続き資格取得を進めてまいります。なお、資格取得者においては胸章下部に表示しております。



### ・アルコール検知器による検査

ヒューマンエラー防止対策の一環として、全ての乗務員は出勤時の乗務前にアルコール検知器による検査を実施し、酒気を帯びていないことを確認してから乗務させております。



### ・ご意見フォーム

利用者からの要望・ご意見等については、積極的に取り入れ反映すべくホームページに「ご意見フォーム」を開設して広く承っており、その対応についても社内体制を整えて敏速化するよう努めております。

また、承った要望・ご意見のうち、直ちに実現可能な事項については、関係部署と協議し、日々の運営並びに施設改善に活かすなど、お客様へのサービス向上に努めてまいります。

## 6. 事故等の発生状況

2010年度の運転事故等（運転事故・輸送障害・インシデント）はありませんでした。引き続き今後も、安全を最優先に取り組んでまいります。

過去3年間の運転事故、輸送障害及びインシデントの発生件数

年度	運転事故	輸送障害 (30分以上の遅延)	( )インシデント
2008年度	0件	0件	0件
2009年度	0件	0件	0件
2010年度	0件	0件	0件

( )インシデント・・・鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態

## 7. お客様へのお願い

輸送の安全・安定確保には、当社が積極的に取り組むことはもちろんですが、皆様のご理解やご協力も欠かせません。ご利用のお客様には、下記事項について安全輸送へのご協力をお願いします。

- 1) 駆け込み乗車はおやめください**  
列車の遅れの原因となるだけでなく、思わぬケガや事故にもつながります。大変危険ですので、余裕をもったご乗車をお願いいたします。
- 2) ホームでは黄色い線の内側をお歩きください**  
ホームでは列車から離れ、黄色い線の内側をお歩きください。降車されたお客様がホームを歩行中に転倒し、発車直後の列車に接触や線路に転落する事故が当社でも発生しています。
- 3) 転倒、転落にご注意ください**  
ご高齢のお客様や、酔ったお客様の階段、エスカレータやコンコースでの転倒、ホームからの転落が発生しております。ホームからの転落を発見した場合、直ちにお近くの非常通報ボタンを押して事故防止にご協力ください。
- 4) 戸袋に手を引き込まれないようにご注意ください**  
ドアが開く際には、お子様の手が戸袋に引き込まれないようにご注意ください。
- 5) 不審物を発見した場合は**  
駅構内や車内で不審物等を発見された場合は、お手を触れずにお近くの駅係員または乗務員にお知らせください。
- 6) 線路内に立ち入らないでください**  
線路内は大変危険です、絶対に立ち入らないでください。
- 7) 迷惑行為防止のお願い**  
最近、車内でのお客様同士のトラブルが増加しています。すべてのお客様に快適に電車をご利用いただくために、携帯電話のご使用方法やヘッドホンの音量をはじめ、車内のマナーをお守りくださいますようお願いいたします。

## 当社の安全の取り組みに対するご意見

当社の安全への取り組みや本報告書に関するご意見等がありましたら、下記までお寄せください。

### 北総鉄道株式会社 企画室

電 話：047 - 445 - 1902  
ホームページ内ご意見フォームまで  
ホームページアドレス：<http://www.hokuso-railway.co.jp>